

# 志布志湾海岸保全対策検討協議会

## 第 1 回 協 議 会

日 時： 令和5年9月25日（月） 13：30～15：00

開催場所： 東串良町役場 防災庁舎2F 対策本部室

### 【会 次 第】

- 1 開会挨拶
- 2 委員紹介・規約について
- 3 会長選出
- 4 議題
  - 1) 志布志湾海岸保全連絡協議会による要望について
  - 2) 各事業主体による取組
  - 3) 学識者による情報提供
    - ・ 河口付近での土砂動態と航路埋設  
港湾空港技術研究所 中川 康之 特別研究主幹
    - ・ 海岸の侵食問題に対する取組事例  
国土技術政策総合研究所 加藤 史訓 研究室長
    - ・ 海岸の動態と志布志湾の現状  
鹿児島大学水産学部 西 隆一郎 教授
  - 4) 今後の検討に向けた意見交換
    - ・ 既存資料（汀線測量）の情報共有
    - ・ 補足調査等について学識者による助言
  - 5) その他
    - ・ 今後の進め方について
- 5 閉会

## 志布志湾海岸保全対策検討協議会規約

### (名称)

第1条 本会は、「志布志湾海岸保全対策検討協議会」（以下「協議会」）と称する。

### (目的)

第2条 協議会は、志布志湾の現状と課題を明らかにし、今後の海岸保全に係る対策を連携して推進することを目的とする。

### (構成等)

第3条 協議会は、別表に掲げる委員により構成するものとする。

### (会長)

第4条 協議会には、委員の互選により会長を置くものとする。

2 会長は協議会を代表し、会務を総括するものとする。

3 会長に事故等のある場合は、会長があらかじめ指名する委員が会務を代行するものとする。

### (運営)

第5条 協議会は、会長が必要と認めるとき、若しくは委員から要請があった場合に開催する。また、会議の議長は会長がこれにあたる。

### (事務局)

第6条 協議会の事務局は、鹿児島県土木部河川課に置くものとする。

### (意見聴取)

第7条 委員が必要と認めるときは、委員以外（参考人）に出席を求め、意見を聴取することができる。

### (情報公開)

第8条 協議会は、原則公開とする。

### (雑則)

第9条 この規約に定めがなき事項については、必要に応じて協議会の承認を得て、定めるものとする。

## 附 則

### (施行期日)

1 この規約は、令和5年9月25日から施行する。

(別表)

## 志布志湾海岸保全対策検討協議会 名簿

分野	職名	氏名
学識	鹿児島大学水産学部 学部長, 教授	西 隆一郎
"	国土交通省国土技術政策 総合研究所 河川研究部海岸研究室長	加藤 史訓
"	国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所 特別研究主幹	中川 康之
地元	志布志市長	下平 晴行
"	大崎町長	東 靖弘
"	東串良町長	宮原 順
"	肝付町長	永野 和行
関係団体	志布志漁業協同組合長	杉山 大三
"	東串良漁業協同組合長	楠田 勇二
"	高山漁業協同組合長	原崎 昭広
行政	九州地方整備局大隅河川国道事務所長	安藤 詳平
"	九州地方整備局志布志港湾事務所長	渡邊 佑輔
"	鹿児島県大隅地域振興局建設部長	小濱 磨
"	鹿児島県大隅地域振興局農林水産部長	厚ヶ瀬 英俊
"	鹿児島県土木部参事兼砂防課長	星野 久史
"	鹿児島県土木部港湾空港課長	佐多 悦成
"	鹿児島県農政部農地保全課長	鍋田 康之
"	鹿児島県土木部河川課長	福永 和久
事務局	鹿児島県土木部河川課	

志布志湾海岸保全事業に関する

# 要 望 書

令和4年11月



備蓄基地と海岸線

志布志湾海岸保全連絡協議会

# 志布志湾海岸保全連絡協議会



会 長

東串良町長

宮原 順



副会長

志布志市長

下平 晴行



理 事

肝付町長

永野 和行



理 事

大崎町長

東 靖弘

鹿児島県知事  
塩田 康一 様

## \* 志布志湾沿岸地域の侵食防止について

志布志湾沿岸地域（志布志市・大崎町・東串良町・肝付町）における土木行政の推進につきましては、平素よりご理解とご尽力を賜り、心より御礼申し上げます。

志布志湾は、宮崎県南部の都井岬から鹿児島県肝付町に至る幅約 15 km、南北 16 kmの東向きに開かれた湾で、日本を代表する白砂青松の景勝地であり、日南海岸国定公園に指定されています。

この志布志湾では、チリメン漁や県内一の漁獲量を誇るシラスウナギ漁など、地域経済の一役を担っている漁場や、おだやかな湾を望む砂浜は、ウミガメやコアジサシなどの産卵場として知られ、地域住民の憩いの場として広く利用されているところです。

しかしながら、昨今では海岸線が防風林直前まで迫り、地域住民の癒しの空間である砂浜が無残にも削り取られ、見る影もない惨状を呈しています。

志布志湾内で特に侵食の進んでいた菱田川東岸の押切海岸及び通山海岸では、民家の直近まで海岸線が迫り、渚の消滅が危惧されていましたが、平成 17 年に人工リーフを設置していただいたところです。また、夏井海岸における離岸堤 80m の整備や、東串良町柏原地区において浚渫に着手していただくなど、これまでもご尽力いただいているところではありますが、その一方で、湾奥中央部に位置する大崎町や石油備蓄基地に隣接する東串良町の海岸線においては、高潮等の侵食によって貴重な砂浜の流出が進んだ結果、浜崖が発生し、肝属川河口付近への土砂堆積が進行している現状があります。

そこで今年度、志布志市の「押切海岸の浜崖対策」、大崎町の「菱田川河口部の土砂溜り対策」、東串良町の「柏原海岸の侵食整備」、肝付町の「肝付川河口付近の土砂堆積」について、それぞれの市町の海岸沿いの住民を中心に、津波や高潮、漁業の振興に対して不安及び苦情の声が多数寄せられていることから、志布志湾岸域の海岸保全及び安心・安全な生活を確保するため、恒久的な対策を講じていただきますよう要望いたします。

令和 4 年 11 月 志布志湾海岸保全連絡協議会  
会 長 宮原 順

# 要 望 事 項 一 覧 表

要望箇所位置図	3
1. 押切海岸の浜崖対策について【志布志市】	4
2. 菱田川河口部の土砂溜り対策について【大崎町】	5
3. 柏原海岸の侵食の整備について【東串良町】	6～7
4. 肝属川河口付近の土砂堆積について【肝付町】	8～9

# 志布志湾海岸保全事業要望箇所 位置図





## 1. 押切海岸の浜崖対策について【志布志市】

押切海岸におきましては、過去に災害関連事業で人工リーフ設置や災害復旧事業により、張ブロックや盛土（土羽工）、大型土のう等の復旧により海岸浸食防止の効果が発揮されていたところでしたが、近年の台風に伴う異常波浪により、築堤盛土が流出し、矢板護岸がむき出しとなっており、長期間に渡り立入禁止措置が施されている状況であります。

今後、更なる台風等の直撃による異常波浪が発生した場合、大規模な海岸浸食が考えられます。恒久的な対策を講じて頂き、市民の憩いの場として安全な海岸とウミガメが産卵できる砂浜を要望いたします。

### 矢板護岸状況



### 築堤盛土流出状況



### 立入禁止措置



## 2. 菱田川河口部の土砂溜り対策について【大崎町】

日南海岸国定公園に指定されている大崎海岸は、志布志湾のほぼ中央に位置し、白砂青松の風光明媚な景観を有する海岸です。

海岸線には、絶滅危惧種に指定されているアカウミガメやコアジサシの産卵場が確認され、ハマボウフウが自生するなど、希少動植物の生息地として広く知られています。また、背後地には、くにの松原キャンプ場があり、町内外から多くの方々に利用されています。

### ○菱田川河口部の土砂溜り対策について

志布志湾に流れ込む二級河川菱田川の河口部は、台風の来襲、高潮、波浪等により、沖から押し寄せる波とともに大量の土砂が河口部に堆積するため、梅雨時期などは菱田川の水位が上昇し、河口上流部の護岸が被災し、地域住民より堤防決壊の心配の声も寄せられている状況であります。

今後も地球温暖化に伴って海面水温は高くなり、線状降水帯による長時間の豪雨や台風の大規模化で堤防決壊等の甚大な被害が予想されます。

このような状況をご理解いただきまして、恒久的な対策を講じていただくよう要望いたします。



▲菱田川河口部（令和3年8月）

### 3. 柏原海岸の浸食の整備について【東串良町】

大隅半島の観光資源である志布志湾は、日南海岸国定公園の指定を受けた白砂青松の美しい海岸線を形成し湾に接する東串良町にとっても、観光スポットとして、また豊かな自然に恵まれた漁場として産業経済の一躍を担っています。

静かな環境の中、黄色い絨毯で知られるルピナス（通称ルーピン）の花咲く海岸、またウミガメ、コアジサシなどの産卵場として広く知られる一方、地域住民をはじめとし観光客の憩いの場として、また学童の学習の場として利用されています。

しかしながら、度重なる台風襲来により、一段と浸食が進み、海岸線が防風林直前まで迫っている状況にあります。砂浜は、地域住民の癒しの空間でもあり、また汀線が浸食されたことにより、背後地にあるチリメン工場やビニールハウスの塩害等の影響が懸念されています。

このような状況をご理解いただきまして、浸食対策をお願いいたします。

浜崖の状況（令和4年9月20日撮影）





#### 4. 肝属川河口付近の土砂堆積について【肝付町】

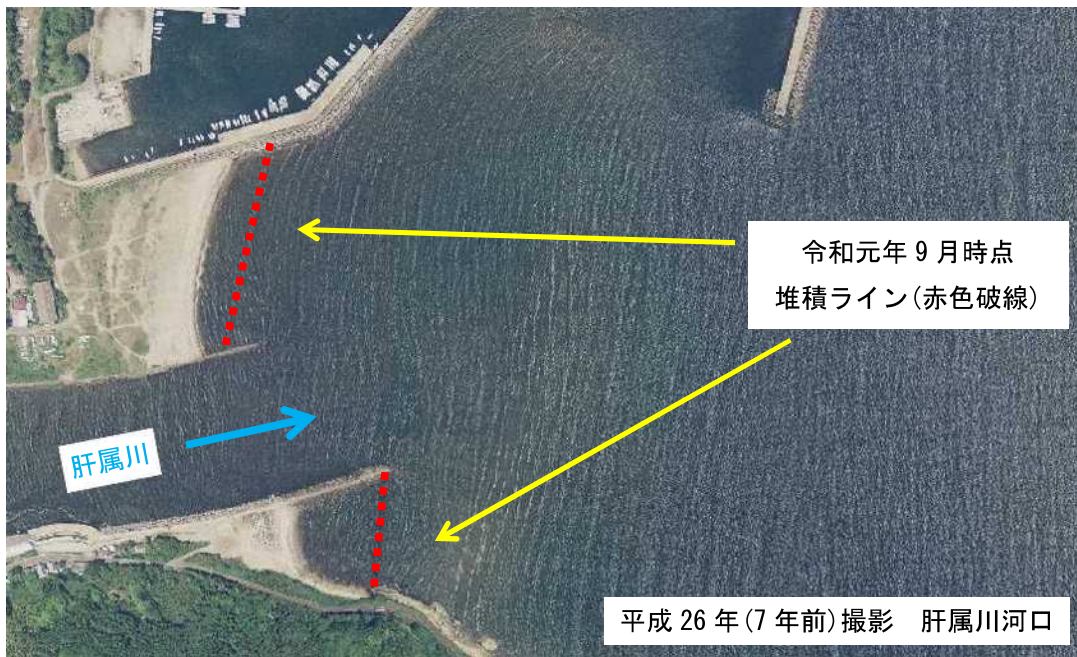
肝付町には、高隈山脈に端を発する本土最南端の一級河川である肝属川が流れており、本町はもとより大隅地域の流域内約11万6千人の生活を支えています。しかしながら近年の豪雨や周辺の海岸浸食などにより、肝属川河口付近への土砂堆積が年々進行している状況です。

今後、河口付近への土砂堆積進行により、大雨時の流下能力不足を原因とした内水被害の拡大や、堤防決壊等の災害発生が懸念されます。また、その土砂は地元高山漁協の共同漁業権内の岩場にも堆積しつつある状況であることから、このまま状況が悪化すれば漁場が荒れ、水揚げの減少などによる漁業の衰退にも繋がるおそれがあります。

先般より県当局におかれましては波見港柏原地区において航路浚渫を継続的に実施されているところではありますが、より効率的に事業を行うためにも、肝属川河口付近の早急な浚渫はもちろん、並行して河川からの土砂流出対策も必要になると思いますので、防災・減災、国土強靱化の観点からも、今後も引き続き、波見港周辺の浚渫と併せて、肝属川を管理する国土交通省と連携しながら、肝属川河口部への対策をお願いいたします。

肝属川河口付近全景（令和4年8月26日）





# 志布志湾沿岸の現状 (志布志市・大崎町・東串良町・肝付町)



## 押切海岸の侵食 (志布志市)・菱田川河口部の土砂堆積 (大崎町)



## 柏原海岸の侵食 (東串良町)・肝付川河口付近の土砂堆積 (肝付町)



# 関係機関事業実施状況 ①

## 志布志有明大崎海岸（志布志有明大崎地区）応急対策工事 [県：河川]



令和元年災害復旧時



R2.9台風で盛土が流出、背後矢板が露出



令和5年7月現状



応急対策で消波ブロックを設置

令和5年4月現状



鹿児島大学水産学部  
海岸環境工学研究室

## 大崎海岸（菱田地区）老朽化対策緊急事業 [県：農地]





# 関係機関事業実施状況②

大崎海岸（柏原地区）応急対策工事 [県：河川]



波見港海岸（柏原地区）波見港航路浚渫 [県：港湾]



志布志港ふ頭再編改良事業（国際バルク戦略港湾） [国：港湾]



志布志港 国際物流ターミナル整備事業 [国：港湾]

